

ソミヤは都会で暮らしていた30歳の女性。

自然の中での暮らしに憧れ、  
鳥のうらと一緒にあちこち訪れ、  
とある里山にたどりつきました。

宇治町、松原町と  
呼ばれている  
町です。



ソミヤもうらも  
田舎暮らしの経験はなく、  
里山の人々がどんな暮らしをして  
いるのか想像が付きません。  
電車も大きなスーパーもない・・・  
さて、どうしよう。

うらは  
「この町がどんなところか空から眺めてくる」  
といって飛び立っていきました。